

高等学校 令和4年度（1学年用）教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～H組
 教科担当者：（A組：福島）（B組：小野）（C組：岩瀬）（D組：岩瀬）（E組：小野）（F組：福島）
 （G組：岩瀬）（H組：福島）

使用教科書：（高等学校 現代の国語（第一学習社））

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】基礎的言語能力（読む・書く・話す・聞く）およびコミュニケーション技能・能力の習得および向上
 【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を問わず、書き手の意図を的確に把握する力、および自分の考えを適切に表現する力の育成
 【学びに向かう力、人間性等】自ら教科書以外の文章に多く触れていく姿勢の育成／他者に対する共感力や感受性の育成・向上

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・漢字や語句など語彙力の向上 ・論理的な文章や実用的な文章に数多く触れることで基礎的な読解力を向上させる ・「書く・話す・聞く」など言語表現にかかわる技能の向上	・論理的な文章の構造を把握し、論理や文意を適切に把握する力 ・問われているテーマについて自分の考えを持ち、それを適切に表現できる力、および聞く力	・日常的に自分たちが触れているものよりも長め、難しめの文章を意欲的に読んでいこうとする姿勢 ・扱われているテーマについて自らより深く知り、考えていける力

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話	書	読						
1 学 期	単元 論理的な文章に触れる① 【知識及び技能】 「比較して考察する」論理 【思考力、判断力、表現力等】 （東洋）文化について考える 【学びに向かう力、人間性等】 改めて東洋・日本文化について、 日常レベルで考える	教材 評論『水の東西』 指導内容 評論文の読み方／比較文化論 ／段落構成と論理構造 端末活用 文中の「鹿おどし」「エステ家の噴水」などを調べる 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	○	○	○	6	
	単元 論理的な文章に触れる② 【知識及び技能】 現代的コミュニケーションと自我の 関わりについて知る 【思考力、判断力、表現力等】 自分という存在について考える 【学びに向かう力、人間性等】 自他の関係の在り方を考える	教材 評論『「本当の自分」幻想』 指導内容 評論文の読み方／現代的なコ ミュニケーションと自我の関係／ 段落構成と論理展開 端末活用 文中の外来語を調べる	○	○	○	○	○	○	7	
	定期考査					○	○		1	
	単元 評論を読んで考える① 【知識及び技能】 現代言語学の基礎について知る 【思考力、判断力、表現力等】 ことばと認識の関係について、知っ たことをもとに考える 【学びに向かう力、人間性等】 言語全般に興味を広げる	教材 評論『ものとことば』 指導内容 現代的な言語学の基礎認識 ／段落構成と論理構造 端末活用 教材に準じ、端末上で相互に例 を出し合ってみる 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	○	○	○	7	
2 学 期	単元 国語表現の基礎① 【知識及び技能】 表記等、表現の基礎事項の確認 【思考力、判断力、表現力等】 他者に伝えるための表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 「他者のために伝える」という基本 姿勢を学ぶ	副教材「国語表現の基礎」 指導内容 仮名遣いや送り仮名の確認／原 稿用紙の使い方の確認／簡単な伝 達文の作成 端末活用 基礎的なアプリの使いかた 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	○	○	○	6	
	定期考査					○	○		1	
	単元 コミュニケーション技術 【知識及び技能】 調査に基づきプレゼンを行う 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンを行いそれを傾聴する 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメートのプレゼンを傾聴す る／学びを言語化する	タスク プレゼンテーション 指導内容 夏季休業課題として課した調査 と発表を全員分行う／傾聴スキル について指導する 端末活用 端末を用いてプレゼンを行う 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	○	○	○	6	
	単元 評論を読んで考える② 【知識及び技能】 自由主義と競争について知る 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の意見に対して自分の意見を持 つ 【学びに向かう力、人間性等】 社会に対する問題意識を持つ	教材 評論『フェアな競争』 指導内容 「自由競争」「社会資本」「リ バタリアンの言説」についての評 論を読む 端末活用 例示された言説を実際に読む 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	○	○	○	8	
定期考査					○	○		1		
3 学 期	単元 論理的な文章を読んで考える③ 【知識及び技能】 資本主義的思考と現代的な環境問 題の関連について知る 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題についての思考を深める 【学びに向かう力、人間性等】 言語全般に興味を広げる	教材 評論『ロビンソンの人間と 自然』 指導内容 現在の環境問題について、思想 的な側面から理解する 端末活用 環境問題について更に調べる 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	○	○	○	8	
	単元 コミュニケーション技術 【知識及び技能】 論理的な伝達文を作成する 【思考力、判断力、表現力等】 定型の文章を書く力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 「他者のために伝える」という基 本姿勢を学ぶ	教材 5パラグラフ作文 指導内容 5パラグラフの定型作文 ／実作／可能ならば発表 端末活用 特になし 学びのふりかえりシート作成 （可能ならば今回の学びを5パラ グラフで書く）	○	○	○	○	○	○	5	
	定期考査					○	○		1	
3 学 期	単元 評論を読んで考える④ 【知識及び技能】 科学や技術についての基礎認識 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の指摘を理解した、現代的な 「科学」の在り方を考える 【学びに向かう力、人間性等】 科学・技術について関心を持つ	教材 評論『文化としての科学』 指導内容 「科学」と「技術」を対比的に 整理して理解する 端末活用 互いに知識を出し合って共有 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	○	○	○	12	
	定期考査					○	○	○	1	
									合計	70

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：(AB組：岩瀬・福島 (CD組：岩瀬・小野 (EF組：岩瀬・小野 (GH組：岩瀬・小野

使用教科書：(高等学校 言語文化(第一学習社) ※一部同社「現代の国語」を使用)

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】基礎的言語能力(読む・書く・話す・聞く)およびコミュニケーション技能・能力の習得および向上
- 【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を問わず、書き手の意図を的確に把握する力、および自分の考えを適切に表現する力の育成
- 【学びに向かう力、人間性等】自ら教科書以外の文章に多く触れていく姿勢の育成/他者に対する共感力や感受性の育成・向上

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・漢字や語句など語彙力の向上 ・近代以降の文学に触れ、文学的表現に対する読解力を向上させる ・古典文学に慣れ、文法的知識をもとに正確に古典を読み取る力を向上させる	・含意のある文章を適切に読み取り、自分で判断したうえで鑑賞できる力の向上 ・時代背景が異なっても変わらない、人の感情・思いを読み取り、鑑賞できる力の向上	・古典あるいは近代以降の文学が、多くの人に影響を与え、現代まで続く文化を形成してきたことの価値を理解し、意欲的に学んでいこうとする姿勢を持つ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 近代文学① 【知識及び技能】 短編小説の読み方を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 古典に題材をとった作品を通し、改めて「小説」とはなにかを考える 【学びに向かう力、人間性等】 芥川他作品や古典に興味を広げる	教材 評論『羅生門』 指導内容 小説を技法や描写にフォーカスして読む/「小説」とはどんな手法か 端末活用 他の芥川作品を調べる/今昔物語集版の「羅城門」を読む		○	○	・小説を内容やストーリーだけでなく手法や技術の面から見るができる ・さまざまな表現技法に関心を持ち、その意図や効果について考え、自分の見解を言語化して伝えられる ・芥川の他作品や、もともなった古典説話に関心を持ち、興味を広げようとしている	○	○	○	6
	単元 古文入門・説話文学 【知識及び技能】 古文を読むための基礎知識を得、簡単な説話の世界に触れてみる 【思考力、判断力、表現力等】 近代以降の文章との違いを自分なりに見つけていく 【学びに向かう力、人間性等】	教材 「古文入門」『宇治拾遺物語』「児のそら寝」 指導内容 現代仮名遣いと歴史的仮名遣い/古典での50音/説話の読解 端末活用 古典導入教材(スタディサプリ) 学びのふりかえりシート作成		○	○	・仮名遣いの違いや50音の違いなどを理解したうえで、古文を適切に音読できる ・初歩的な古典作品を対訳付きで理解できる ・古典作品の中にある、現代に通じる可笑しさを言語化して説明できる ・古典に興味を持ち、積極的に読もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	単元 説話と物語 【知識及び技能】 古文の読解のための技能習得に進む 【思考力、判断力、表現力等】 作品に現れる人間観に触れ、長く読まれる作品について考える 【学びに向かう力、人間性等】 より積極的に古文学習意欲をもつ	教材 『宇治拾遺物語』『絵伝師良秀』、『竹取物語』 指導内容 音読/内容理解/初歩的な文法事項の学習 端末活用 文学史的な知識を検索してまとめる		○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・初歩的な文法事項(品詞の種類など)について理解できる ・長く読み継がれる作品とはどのようなものか、教材をもとに自分の考えを持ち、言語化できる	○	○	○	7
単元 つくり物語と近代小説 【知識及び技能】 引き続き古文読解を進め、フィクションのおもしろさを感じ取る 【思考力、判断力、表現力等】 人の想像力の豊かさについて考える 【学びに向かう力、人間性等】 人間の想像力の豊かさに関心をもつ	教材 『竹取物語』『夢十夜』 指導内容 音読/内容理解/文法事項/隠喩やイメージ・モチーフを読み取る 端末活用 アプリを用い、受け取りや読後感などの意見交換 学びのふりかえりシート作成		○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・初歩的な文法事項(品詞の種類など)について理解できる ・抽象的、幻想的な作品世界を理解できる ・読み取った内容をもとに、自分の受け取りを言語化できる	○	○	○	8	
定期考査						○	○		1	
2 学 期	単元 随想・随筆 【知識及び技能】 より正確に古文を読む 【思考力、判断力、表現力等】 随想に表される筆者の感性や考え方を感知取り、自分の考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 時代への理解を深めようとしている	教材 『徒然草』『枕草子』 指導内容 音読/内容理解/文法事項(用言)/筆者の価値観や考え方、感性 端末活用 文法学習(スタディサプリ)/読後の意見交換		○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・文法事項(用言)について理解できる ・当時の感覚や価値観と、現代の価値観とを比較しながら、共通項や違いについてまとめ、自分の考えを述べられる ・古典作品のユーモアや美意識にある現代と	○	○	○	7
	単元 歌物語 【知識及び技能】 より正確に古文を読む 【思考力、判断力、表現力等】 和歌が教養の中心にあった時代を想像し、当時の感じ方をとらえる 【学びに向かう力、人間性等】 時代への理解を深めようとしている	教材 『伊勢物語』『筒井筒』『芥川』 指導内容 音読/内容理解/和歌の理解/文法事項/時代背景の理解 端末活用 読後の意見交換 学びのふりかえりシート作成		○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・文法事項(用言)について理解できる ・当時の感覚や価値観、特に和歌に対するそれと現代の価値観とを比較しながら、共通項や違いについてまとめ、自分の考えを述べられる	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	単元 漢文導入 【知識及び技能】 訓読の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 訓読の基本ルールを理解し、応用的に使いこなせる 【学びに向かう力、人間性等】 漢文を通じ、漢文学・文化に親しむ	教材 漢文入門 指導内容 訓読の基本/返り点・送り仮名/書き下し文 端末活用 訓読の理解(スタディーサプリ) 学びのふりかえりシート作成		○	○	・訓読の基本ルールを理解し、身につける ・返り点や送り仮名、返読文字、再読文字、置き字を理解する ・訓点に応じて書き下し文に直せる ・外国語を自国語で読めるようにした必要性について考え、自国文化と他国文化の関係について考える ・意欲的に漢文学習に取り組んでいる	○	○	○	6
単元 故事成語 【知識及び技能】 故事成語とその由来について知る 【思考力、判断力、表現力等】 作品の歴史的・文化的背景を理解し、作品の価値観について考える 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代のつながりに関心を持つ	教材 故事成語 指導内容 訓読/音読/対訳/解釈/作品の背景の理解 端末活用 読後の意見交換 学びのふりかえりシート作成		○	○	・訓読の基本ルールにのっとって正しく漢文を読む ・故事成語が現代でも使われていることを理解する ・作品の時代背景を理解し、その時代の価値観について自分の考えをまとめられる ・漢文化と日本文化の関係について興味を持ち、学習を深めようとしている	○	○	○	7	
定期考査						○	○		1	
3 学 期	単元 韻文(詩、和歌、漢詩) 【知識及び技能】 あらゆる「うた」を鑑賞する 【思考力、判断力、表現力等】 どんな文化にも「うた」があることを再確認し、鑑賞する 【学びに向かう力、人間性等】 人の感性や感じ方に関心を持つ	教材 近現代の詩歌・古典の詩歌・漢詩 指導内容 現代詩を読む/和歌を読む/漢詩を読む/時代や文化による「うた」の共通点と相違点 端末活用 歌の背景の調査 学びのふりかえりシート作成		○	○	・近現代の詩や短歌、古典の和歌、漢詩と、形は違えど「うた」であることを理解する ・それぞれの歌の技法や特徴を把握し、詠まれている内容について理解する ・歌の鑑賞を通じ、人の感性や思いについて考え、自分なりにまとめる ・詩や歌に関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている	○	○	○	12
	定期考査					○	○	○	1	
						○	○	○	合計 70	

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科

数学 科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者： (A組～H組： 荒井、長友、鯉沼)

使用教科書： (「新編 数学 I」 数研出版)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を身に付ける。
数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数や式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的にみたり適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象の特徴を表すグラフを関連付けて考察する力、社会的事象などから設定した問題について分析し、解決の過程や結果を考察し判断する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期						
単元 「式」の計算 【知識及び技能】 式を目的に応じて整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な式も、項を組み合わせるなどして適切に変形できる。 【学びに向かう力、人間性等】 既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形できる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 式の形の特徴に着目して変形し、展開や因数分解の公式を適用することができる。 【思考・判断・表現】 複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして、因数分解をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。	○	○	○	8
単元 「実数」 【知識及び技能】 基本的な概念としてまとめ、数の体系についての理解を深める。簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 実数の性質について考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができ、分母の有理化ができる。 【思考・判断・表現】 実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線を関係づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対称式の値の求め方や循環小数が分数で表わすことに興味を示し、自ら考察しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1
単元 「一次不等式」 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常的な事象に1次不等式が活用できることに興味をもち、考察しようとしている。	○	○	○	11
単元 「集合と命題」 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合と命題に関する概念を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 背理法を利用して命題を証明することができる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。 【思考・判断・表現】 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると解きやすくなることに興味・関心をもち、実際に証明しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1
2 学 期						
単元 「2次関数とグラフ」 【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータなどの情報機器を用いて2次関数のグラフをかき。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 平方完成を利用して、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかきことができる。 【思考・判断・表現】 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 放物線のもつ性質に興味・関心をもち、自ら調べようとしている。	○	○	○	9
単元 「2次関数の値の変化」 【知識及び技能】 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の最大・最小の考えを利用して日常生活における具体的な事象を考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 2次関数 $y=a(x-p)^2+q$ の形で変形して、最大値、最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1
単元 「2次方程式と2次不等式」 【知識及び技能】 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある具体的な問題を2次不等式で解決できる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 2次方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数で表される事象の具体例について興味をもち、考察しようとしている。	○	○	○	14
単元 「三角比」 【知識及び技能】 三角比の意味やその基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係などを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会的事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 【思考・判断・表現】 平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 tanθと直線の傾きの関係に興味をもち考察しようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○	○	1
3 学 期						
単元 「三角形への応用」 【知識及び技能】 正弦定理、余弦定理の意味を理解し活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 正弦（余弦）定理や面積を求める公式を導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会的事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 正弦定理、余弦定理を導くことができる。三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 正弦定理、余弦定理、三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。日常の事象や社会的事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。	○	○	○	11
単元 「データの分析」 【知識及び技能】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 手法を選択してデータの分析を行い、事象の特徴を表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 主張の妥当性について、実験を通して判断し、批判的に考察する力を養う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学 I」 「練習ドリル 数学 I」 一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 データの代表値、分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、計算して求めることができる。 【思考・判断・表現】 データの散らばり具合をどのように数値化するかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1
						合計
						105

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者： (AB組：増坪・森田・額賀) (CD組：増坪・森田・額賀) (EF組：増坪・森田・額賀) (GH 組：増坪・森田・額賀)

使用教科書： (「MY WAY English Communication Ⅰ」)

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を行い、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を一体的に育成する。		中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話〔や〕	話〔発〕	書					
<p>単元 Lesson 1</p> <p>【知識及び技能】 動詞の時制、SVO(O=that節)に関する事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 [L] 紹介したいことわざについて、聞き取って捉えている。 [R] 世界各地の特徴的なことわざについて、レクチャーを読み取り、概要や要点を把握している。 [Sや] 紹介したいことわざについて、相手からの質問に答えたりしている。 [S発] 紹介したいことわざについて、情報や考えを発表して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 [L] 紹介したいことわざについて、主体的に聞き取って捉えようとしている。 [R] 世界各地の特徴的なことわざについて、レクチャーを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 [Sや] 紹介したいことわざについて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。 [S発] 紹介したいことわざについて、主体的に情報や考えを発表して伝えている。</p>	<p>・指導事項 現在形・過去形/進行形/SVO(O=that節)についての説明、ことわざ、比較文化 / 講義・学校生活について理解を深める。 ・教材 「MY WAY English Communication Ⅰ」 「MY WAY English Communication WORKBOOK」 「Jet Reading Level 1」 「Pair and Share 1」 「Data Base 3000」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	○	○	○	○	○					10
<p>単元 Lesson 2</p> <p>【知識及び技能】 助動詞、受け身に関する事項を理解している。 理由を述べる表現の意味や働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 [L] 図書室に飾る写真について、聞き取って捉えている。 [R] 岩合光昭さんの生き方や考えについて、インタビューを読み取り、概要や要点を把握している。 [Sや] 図書室に飾る写真について、話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 [S発] 図書室に飾る写真について、情報や考えを発表して伝えている。 [W] 野生動物の保護のためにできることについて、簡潔に書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 [L] 図書室に飾る写真について、主体的に聞き取って捉えようとしている。 [R] 岩合光昭さんの生き方や考えについて、インタビューを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 [Sや] 図書室に飾る写真について、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。 [S発] 図書室に飾る写真について、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。 [W] 野生動物の保護のためにできることについて、主体的に簡潔に書いて伝えようとしている。</p>	<p>・指導事項 助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身についての説明、自然、共生 / インタビュー・学校生活について理解を深める。 ・教材 「MY WAY English Communication Ⅰ」 「MY WAY English Communication WORKBOOK」 「Jet Reading Level 1」 「Pair and Share 1」 「Data Base 3000」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	○	○	○	○	○					10
定期考査							○	○			1

1 学期	<p>単元 Lesson 3</p> <p>【知識及び技能】 動名詞、to不定詞の用法に関する事項を理解している。 相手の理解を確かめる表現の意味や働きを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 [L] 宇宙食として食べたいものについて、聞き取って捉えている。 [R] 高校生による宇宙食開発の経緯について、新聞記事を読み取り、概要や要点を把握している。 [Sや] 宇宙食として食べたいものについて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 [S発] 宇宙食として食べたいものについて、情報や考えを発表して伝えている。 [W] 食べてみたい新しい食べ物について、理由や根拠とともに書いて伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 [L] 宇宙食として食べたいものについて、主体的に聞き取って捉えようとしている。 [R] 高校生による宇宙食開発の経緯について、新聞記事を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 [Sや] 宇宙食として食べたいものについて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。 [S発] 宇宙食として食べたいものについて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。</p>	<p>・指導事項 動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法についての説明、若者、食文化 / 新聞記事・学校生活について理解を深める。 ・教材 「MY WAY English Communication 1」 「MY WAY English Communication WORKBOOK」 「Jet Reading Level 1」 「Pair and Share 1」 「Data Base 3000」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識及び技能】 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、理解して考えを深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 宇宙食として食べたいものについて、意見を交換してまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙食として食べたいものについて、主体的に聞き取って捉えようとし、新聞記事を主体的に読み取ったり、考えを話したり、相手からの質問に答えようとしていたり、情報や考えを発表して伝えようとしている。食べてみたい新しい食べ物について主体的に書いて伝えようとしている。</p>	○ ○ ○ ○ ○	10
	<p>単元 Lesson 4</p> <p>【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形に関する事項を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 [L] 紹介したい日本の物語について、聞き取って捉えている。 [R] 『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、プレゼンテーションを読み取り、概要や要点を把握している。 [Sや] 紹介したい日本の物語について、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 [S発] 紹介したい日本の物語について、情報や考えを発表して伝えている。 [W] 物語のキャラクターの好みについて、理由や根拠とともに書いて伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 [L] 紹介したい日本の物語について、主体的に聞き取って捉えようとしている。 [R] 『クマのプーさん』に込められたメッセージを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 [Sや] 紹介したい日本の物語について、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。 [S発] 紹介したい日本の物語について、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。 [W] 物語のキャラクターの好みについて、理由や根拠とともに主体的に書いて伝えようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形についての説明、芸術、異文化 / 本、プレゼンテーション・学校生活について理解を深める。 ・教材 「MY WAY English Communication 1」 「MY WAY English Communication WORKBOOK」 「Jet Reading Level 1」 「Pair and Share 1」 「Data Base 3000」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識及び技能】 『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、理解して考えを深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したい日本の物語について、意見を交換してまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 紹介したい日本の物語について、主体的に聞き取って捉えようとし、プレゼンテーションを主体的に読み取ったり、考えを話したり、相手からの質問に答えようとしていたり、情報や考えを発表して伝えようとしている。物語のキャラクターの好みについて主体的に書いて伝えようとしている。</p>	○ ○ ○ ○ ○	10
	<p>単元 Lesson 5</p> <p>【知識及び技能】 関係代名詞、It is ... to不定詞に関する事項を理解している。 主張する表現の意味や働きを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 [L] 学びたい言語について、聞き取って捉えている。 [R] 消滅の危機にある世界の言語について、インタビューを読み取り、概要や要点を把握している。 [Sや] 学びたい言語について、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 [S発] 学びたい言語について、情報や考えを発表して伝えている。 [W] 自分が使う絵文字について、説明とともに書いて伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 [L] 学びたい言語について、主体的に聞き取って捉えようとしている。 [R] 消滅の危機にある世界の言語について、インタビューを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 [Sや] 学びたい言語について、主体</p>	<p>・指導事項 関係代名詞(主格) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞what / It is ... to不定詞についての説明、ことば、比較文化 / インタビュー・学校生活について理解を深める。 ・教材 「MY WAY English Communication 1」 「MY WAY English Communication WORKBOOK」 「Jet Reading Level 1」 「Pair and Share 1」 「Data Base 3000」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表</p>	○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識及び技能】 消滅の危機にある世界の言語について、理解して考えを深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 英語以外に学びたい言語について、意見を交換してまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びたい言語について、主体的に聞き取って捉えようとし、インタビューを主体的に読み取ったり、考えを話したり、相手からの質問に答えようとしていたり、情報や考えを発表して伝えようとしている。自分が使う絵文字について主体的に書いて伝えようとしている。</p>	○ ○ ○ ○ ○	10
					○ ○	1

高等学校 令和4年度（1学年用）教科 理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第1学年 A組～H組

教科担当者： (A組：渡邊優) (B組：上野) (C組：渡邊優) (D組：上野) (E組：上野) (F組：渡邊優) (G組：上野) (H組：上野)

使用教科書： (物基710「高等学校 新物理基礎」第一学習社)

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての物理法則の理解を深め、物理現象を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、物理法則や物理量の関係式を用いた解法で見通しをもって、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、物理学で学んだ知識を用いて探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1節 物体の運動 【知識・技能】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考慮することができる。 【思考・判断・表現】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。	第1節 物体の運動 ①速さ ②等速直線運動 ③変位と速度 ④速度の合成・相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度直線運動(1) ⑦等加速度直線運動(2)	【知識・技能】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考慮することができる。 【思考・判断・表現】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。	○	○	○	9
第2節 力と運動の法則 【知識・技能】 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。また、運動方程式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	⑧重力加速度と自由落下 ⑨鉛直投射 ⑩水平投射 第2節 力と運動の法則 ①力と質量 ②いろいろな力 ③力の合成・分解と成分 ④力のつりあい ⑤作用・反作用の法則 ⑥慣性の法則	【知識・技能】 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。また、運動方程式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	○	○	○	11
1学期中間考査			○	○		1
1学期 第3節 仕事と力学的エネルギー 【知識・技能】 静止摩擦力、動摩擦力の大きさを計算できる。物体が受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質量と加速度の関係を考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理的に理解しようとしている。	⑦力と質量と加速度の関係(1) ⑧力と質量と加速度の関係(1) ⑨運動の法則 ⑩摩擦力 ⑪流体から受ける力 第3節 仕事と力学的エネルギー ①力がする仕事 ②仕事の原理と仕事率	【知識・技能】 静止摩擦力、動摩擦力の大きさを計算できる。物体が受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質量と加速度の関係を考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理的に理解しようとしている。	○	○	○	8
第II章 熱 第1節 熱とエネルギー 【知識・技能】 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。 【思考・判断・表現】 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	③運動エネルギー ④重力による位置エネルギー ⑤弾性力による位置エネルギー ⑥力学的エネルギー(1) ⑦力学的エネルギー(2) 第II章 熱 第1節 熱とエネルギー ①温度と熱運動	【知識・技能】 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。 【思考・判断・表現】 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
1学期期末考査			○	○		1
第III章波動 第1節 波の性質 【知識・技能】 セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解する。熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱量の保存を利用した比熱の測定実験について、積極的に取り組んでいる。	②熱と熱平衡 ③熱量の保存 探究3 比熱の測定 ④物質の三態 ⑤熱と仕事 ⑥エネルギーの変換と保存 第III章波動 第1節 波の性質 ①波と振動	【知識・技能】 セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解する。熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱量の保存を利用した比熱の測定実験について、積極的に取り組んでいる。				6
2学期中間考査			○	○		1
2学期 第2節 音波 【知識・技能】 波の基本的な要素を学習し、波の速さ、波長、周期(振動数)の間に成り立つ関係を式で表せる。横波と縦波の伝わり方を理解する。2つの波が重なりあったときの作図ができる。 【思考・判断・表現】 音の速さと3要素	②波の表し方 ③横波と縦波 ④波の重ねあわせ ⑤定常波 ⑥波の反射 第2節 音波 ①音の速さと3要素	【知識・技能】 波の基本的な要素を学習し、波の速さ、波長、周期(振動数)の間に成り立つ関係を式で表せる。横波と縦波の伝わり方を理解する。2つの波が重なりあったときの作図ができる。 【思考・判断・表現】 音の速さと3要素				

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（A組：平林）（B組：平林）（C組：平林）（D組：平林）（E組：平林）（F組：平林）（G組：菅野）（H組：平林）

使用教科書：（化基704「化学基礎」 実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し、化学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対する興味・関心を高めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
序章 物質と化学 【知識及び技能】 物質について調べることにより、さまざまな物質も特徴によって分類することができることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 中学で行った物質に関する実験を振り返り、これから学ぶ化学が物質に関する学問であることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの物質に着目し、我々の生活が物質に支えられていることを理解させる。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 物質の性質に注目し、それぞれの物質を性質ごとに分類することができる。 【思考・判断・表現】 実験を通して、身近な物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や社会を支える物質やその利用に関心を持ち、物質の取り扱い方や人間生活における役割を探究しようとする。	○	○	○	2
1章 物質の構成 1節 物質の探究 【知識及び技能】 混合物と純物質の違いを理解し、自然界の物質の多くが混合物であることを理解させる。また、混合物から目的の物質に分離するには、物質の性質に合わせた方法があることを知る。 元素の意味を知り、純物質のなりたちを理解する。 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構造や性質に関する事象に関心を持たせ、意欲的に物質を探究させる。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。 粒子の熱運動と粒子間にはたらく力の関係を理解し、物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができる。 【思考・判断・表現】 物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとする。 身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
2節 物質の構成粒子 【知識及び技能】 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解させる。 同位体の定義とその性質を理解する。 陽イオン、陰イオンの生成のしくみを理解させる。 周期表の族や周期との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得させる。 イオンの生成を電子配置と関連づけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わっていくことを探究する力を養う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 物質が原子から成り立っていることを理解する。原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを推論・理解できる。また、同位体についての正しい知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得し、的確に表現することができる。 イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わっていくことを探究しようとする。また、元素の性質が電子配置と関係しており、現在の周期表がつけられていることを理解することができる。	○	○	○	5
1学期 定期考査			○	○		1
2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 【知識及び技能】 陽イオンと陰イオン間の静電的引力によりイオン結合が形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 イオン結合でできた物質の性質について興味を持ち、自ら探究する力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることを理解している。 【思考・判断・表現】 水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージし、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオン結合でできた物質の性質について探究しようとする。	○	○	○	5
2節 共有結合と分子間力 【知識及び技能】 共有結合を電子配置と関連づけて理解させる。また、配位結合や分子に働く力、分子結晶や高分子化合物について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 分子中の原子の結合および分子の構造を表す方法を理解させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について興味を持ち、自ら探究する力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 共有結合を電子配置と関連づけて理解することができる。また、配位結合について理解している。分子に働く力を理解し、分子結晶や高分子化合物について理解している。 【思考・判断・表現】 分子の電子式・構造式を書くことができる。電気陰性度を理解し、分子の形と合わせて極性について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について探究しようとする。	○	○	○	5

高等学校 令和4年度（1学年用）教科 理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第1学年 A組～H組

教科担当者： (A組：渡邊優) (B組：上野) (C組：渡邊優) (D組：上野) (E組：上野) (F組：渡邊優) (G組：上野) (H組：上野)

使用教科書： (物基710「高等学校 新物理基礎」第一学習社)

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての物理法則の理解を深め、物理現象を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、物理法則や物理量の関係式を用いた解法で見通しをもって、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、物理学で学んだ知識を用いて探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1節 物体の運動 【知識・技能】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考慮することができる。 【思考・判断・表現】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。	第1節 物体の運動 ①速さ ②等速直線運動 ③変位と速度 ④速度の合成・相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度直線運動(1) ⑦等加速度直線運動(2)	【知識・技能】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考慮することができる。 【思考・判断・表現】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。	○	○	○	9
第2節 力と運動の法則 【知識・技能】 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。また、運動方程式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	⑧重力加速度と自由落下 ⑨鉛直投射 ⑩水平投射 第2節 力と運動の法則 ①力と質量 ②いろいろな力 ③力の合成・分解と成分 ④力のつりあい ⑤作用・反作用の法則 ⑥慣性の法則	【知識・技能】 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。また、運動方程式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	○	○	○	11
1学期中間考査			○	○		1
1学期 第3節 仕事と力学的エネルギー 【知識・技能】 静止摩擦力、動摩擦力の大きさを計算できる。物体が受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質量と加速度の関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理的に理解しようとしている。	⑦力と質量と加速度の関係(1) ⑧力と質量と加速度の関係(1) ⑨運動の法則 ⑩摩擦力 ⑪流体から受ける力 第3節 仕事と力学的エネルギー ①力がする仕事 ②仕事の原理と仕事率	【知識・技能】 静止摩擦力、動摩擦力の大きさを計算できる。物体が受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質量と加速度の関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理的に理解しようとしている。	○	○	○	8
第II章 熱 第1節 熱とエネルギー 【知識・技能】 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。 【思考・判断・表現】 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	③運動エネルギー ④重力による位置エネルギー ⑤弾性力による位置エネルギー ⑥力学的エネルギー(1) ⑦力学的エネルギー(2) 第II章 熱 第1節 熱とエネルギー ①温度と熱運動	【知識・技能】 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。 【思考・判断・表現】 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
1学期期末考査			○	○		1
第III章波動 第1節 波の性質 【知識・技能】 セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解する。熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱量の保存を利用した比熱の測定実験について、積極的に取り組んでいる。	②熱と熱平衡 ③熱量の保存 探究3 比熱の測定 ④物質の三態 ⑤熱と仕事 ⑥エネルギーの変換と保存 第III章波動 第1節 波の性質 ①波と振動	【知識・技能】 セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解する。熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱量の保存を利用した比熱の測定実験について、積極的に取り組んでいる。				6
2学期中間考査			○	○		1
2学期 第2節 音波 【知識・技能】 波の基本的な要素を学習し、波の速さ、波長、周期(振動数)の間に成り立つ関係を式で表せる。横波と縦波の伝わり方を理解する。2つの波が重なりあったときの作図ができる。 【思考・判断・表現】 音の速さと3要素	②波の表し方 ③横波と縦波 ④波の重ねあわせ ⑤定常波 ⑥波の反射 第2節 音波 ①音の速さと3要素	【知識・技能】 波の基本的な要素を学習し、波の速さ、波長、周期(振動数)の間に成り立つ関係を式で表せる。横波と縦波の伝わり方を理解する。2つの波が重なりあったときの作図ができる。 【思考・判断・表現】 音の速さと3要素				

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（A～H組：浅原、久保、慶徳、高山）

使用教科書：（「ステップアップ高校スポーツ2022」（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元：体づくり運動</p> <p>【知識及び運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・運動】 体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 リレー指導 脚力教科トレーニング ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>単元：球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 球技：バレーボール ・教材 試合シート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	12

	<p>ること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたブレインなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>						
2 学 期	<p>単元：水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 泳法指導 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	9
	<p>単元：水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 泳法指導 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	9
	<p>単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 球技：バドミントン ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>単元：ダンス 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方</p>	<p>・指導事項 現代的なリズムのダンス 創作ダンス ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫</p>				

	<p>などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>						12
	<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 長距離走 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 長距離走 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	9
3学期	<p>単元：球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。</p> <p>【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	12
							合計
							105

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（A組：慶徳）（B組：高山）（C組：浅原）（D組：慶徳）（E組：高山）（F組：浅原）（G組：慶徳）（H組：浅原）

使用教科書：（『現代高等保健体育』（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 単元：現代社会の健康 【知識及び技能】 我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康課題や健康の考え方が変化するとともに、様々な健康への対策、健康増進の在り方を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	・指導事項 健康の考え方、生活習慣病とその予防と回復、喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 ・教材 教科書「現代高等保健体育」 パワーポイントの活用 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。 【思考・判断・表現】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることに、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	○	○	○	12
2 学期 単元：現代社会の健康 【知識及び技能】 我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康課題や健康の考え方が変化するとともに、様々な健康への対策、健康増進の在り方を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	・指導事項 現代の感染症とその予防、精神疾患の予防と回復 ・教材 教科書「現代高等保健体育」 パワーポイントの活用 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。 【思考・判断・表現】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることに、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	○	○	○	12

3 学 期	<p>単元：安全な社会生活</p> <p>【知識及び技能】 個人及び社会生活において、様々な事故や災害が発生している。安全な社会を形成するには、事故等の防止に加え、発生に伴う傷害などを軽減することが重要である。事故等の発生には人的要因及び環境要因が関わることを踏まえ、個人の取組に加えて社会的な取組が求められることを理解するとともに、危険の予測やその回避の方法を考えることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>・指導事項 安全な社会づくり、応急手当</p> <p>・教材 教科書「現代高等保健体育」 パワーポイントの活用</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p> <p>【思考・判断・表現】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることに、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○			1
						合計	35

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（ A～H組：池本 早織 ）

使用教科書：（ ON! 1 音楽之友社 ）

教科 芸術 の目標：音楽・美術・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】芸術活動を通じて、専門分野の能力の向上、国際的に活躍することができる人材の育成。

【思考力、判断力、表現力等】芸術活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。

【学びに向かう力、人間性等】芸術活動を通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 音楽 I の目標：音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自らの考えや感性を整理して分析するための知識や、それを表現するために必要な技能を身に付ける。	音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わり、思考力、判断力、専門的な表現力を養う。	音楽の幅広い活動やグループ活動を通して、豊かな人間性を持った人材の育成を目指し、コミュニケーション能力を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
1 学期	1. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌う ・ギターを用いて演奏表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通してコミュニケーション能力および豊かな人間性を養う。	・腹式呼吸の特徴をつかみ、歌うときの姿勢を身につける。 ・歌唱に必要な発声を身につける。 ・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・譜読に必要な基本的音楽知識（音符、休符、拍子）について学ぶ。 ・ギターの基礎（構え方、各部の名称、弾き方）を学ぶ。 ・音楽作品を鑑賞し、音楽の諸要素を感じ取り自らの意見とその根拠を分析し表現する。	○	○	○	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 実技テスト	○	○	○	20
	2. 歌唱、器楽 実技発表 【知識及び技能】 ・学習した内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・実技発表において自らの表現ができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・互いに認め合い鑑賞する	・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・ギターの基礎を理解し、自らの表現で演奏する。	○	○	○	【評価】 実技テスト	○	○	○	4
2 学期	3. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌う ・ギターを用いて演奏表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通してコミュニケーション能力および豊かな人間性を養う。	・複数のパートに分かれて歌う。（三部合唱） ・譜読ができる。（楽譜をみて演奏できているか） ・自分の担当する内容を、よく練習し、演奏出来ているか。 ・合唱、アンサンブルの楽しさを味わう。 ・ギターでメロディ一奏、コード弾き語り、アンサンブルをする。	○	○	○	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱・器楽の実技試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト	○	○	○	26
	4. 歌唱、器楽 実技発表 【知識及び技能】 ・学習した内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・実技発表において自らの表現ができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・互いに認め合い鑑賞する	・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・ギターの基礎を理解し、自らの表現で演奏する。 ・グループメンバーで楽曲をアレンジ（創作）し、オリジナルのアンサンブルを創作・演奏する。	○	○	○	【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト	○	○	○	4
3 学期	5. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌う ・ギターを用いて演奏表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通してコミュニケーション能力および豊かな人間性を養う。	・グループによる演奏発表（呼吸や姿勢を意識して表現しているか。） ・これまでの学習を通し学んだことをいかして演奏しようとしているか。 ・グループ活動において、仲間と協力して練習に取り組んでいるか。 ・サウンドスケープ、環境音楽について考える。 ・「音楽」とは何か、考える。	○	○	○	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト／発表	○	○	○	10
	6. 歌唱、器楽 実技発表 【知識及び技能】 ・学習した内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・実技発表において自らの表現ができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・互いに認め合い鑑賞する	・グループ活動において、仲間と協力して練習に取り組んでいるか。 ・グループメンバーで楽曲をアレンジ（創作）し、オリジナルのアンサンブルを創作・演奏する。	○	○	○	【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト／発表	○	○	○	6
										合計
										70

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 A, B, C, D, G, H 組
 教科担当者：林 徳子
 使用教科書：（教育図書 書 1）

教科 芸術 の目標： 美術・音楽・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】 芸術に関する教科の特質を理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標： 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の基本的な技術を身に着けるとともに、表現するうえで適切な技法を身に着けていく。	書の歴史的背景、書家の人物像にも思いを馳せ、筆法の説明も自らの言葉でできるように、臨書、鑑賞を重ねていく。	自主的に創意工夫を重ねていく学習態度を身に着けていく。表現する技術と感性を自ら高めていくことで、生涯にわたって、書、芸術を愛好する心情を育てていきたい。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮	鑑 賞					
1 学 期	書道の基本	書道用具の正しい扱い方を学ぶ。また、芸術としての書に触れる。書の鑑賞の導入。				姿勢執筆や、用具、用材について理解し、書の学習方法を把握している。				4
	楷書の学習	九成宮禮泉銘 筆法を知る。実際に書くことは勿論のこと、言葉にして説明もできるようになってほしい。				筆法を理解している。臨書するためにじっくりとお手本に向き合おうとしている。				6
	楷書の学習	孔子廟堂碑 筆法を知る。九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解していく。				九成宮禮泉銘と孔子廟堂碑との違いを意識して、臨書に臨んでいる。				6
	書の作品制作の導入	孔子廟堂碑 筆法を知る。九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解していく。				孔子廟堂碑 筆法を知り、九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解している。				8
2 学 期	作品展示	文化祭に向けた作品展示 クラスメートまたは、グループで協力して作業を進めること。				互いの作品への鑑賞することは、展示をしていく上で重要であることを理解し、協力して作業を進めようとしている。				10
	行書の学習	蘭亭序を臨書して学び、行書について理解する。				蘭亭序の臨書を通して、行書について理解する。				8
	行書の学習	行書の基本について学び、行書体で書く。				行書の基本を理解し、行書体で書くことができる。				12
3 学 期	仮名の学習	日本の仮名の古典を学びながら、変体仮名、連綿の構造などを知る。日本の美の一つに挙げられる仮名に親しむ。				変体仮名、連綿の構造などを理解し、日本の伝統的な仮名への関心を深めている。				8
	漢字かな交じりの学習	漢字かな交じりの書で創作の基本を学び、創作する。				漢字かな交じりの書で創作の基本を理解し、創作している。				8
										合計
										70

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者： （A組～H組： 小倉 ）

使用教科書： （「最新情報 I」 実教出版 ）

教科 情報の目標：

- 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会との関わりについての理解を深めるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
	オリエンテーション	・CAL L教室の使い方を理解する。 ・授業の進め方、評価方法を理解する。 ・コンピュータの起動や終了の方法を理解する。	・コンピュータ教室のルールを理解している。 ・コンピュータを起動し、目的とするアプリケーションを開くことができ、正しい手順で終了することができる。	○			1
	単元「情報社会」 【知識及び技能】 データ、情報、知識の意味と相互の関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会の現状と特性について理解できる。	・指導事項 情報社会の解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の方法 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL L教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 情報社会とその特性について説明することができる。適切な手段を選択しデータ入力ができる。 【思考・判断・表現】 情報社会での活用例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	4
	単元「情報モラルと個人への影響」 【知識及び技能】 ソーシャルメディア利用時のモラルとその影響について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 SNSの活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点及び影響についてあげることができる。	・指導事項 情報モラルの解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の練習 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL L教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 ソーシャルメディア利用時の情報モラルとその影響について説明することができる。適切な手段を選択し文書入力ができる。 【思考・判断・表現】 モラルとマナーについて説明でき、実例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	7
1 学 期	単元「情報社会の法規と権利」 【知識及び技能】 知的財産、著作物について理解できる。 個人情報とプライバシーについて理解できる。 通信文がルールに基づき作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産、著作権を保護する意味合いを説明できる。	・指導事項 知的財産、著作物、個人情報、プライバシーの解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の練習 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL L教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 知的財産の概念について説明できる。知的財産権や著作権についての法律をあげることができる。 ルールに則った通信文が作成できる。 【思考・判断・表現】 知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	単元「メディアとデザイン」 【知識及び技能】 メディアの機能やその分類について理解することができる。 メディアの発達について理解することができる。 様々なオブジェクトを取り入れた文章や通信文が作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現することができる。	・指導事項 メディアとデザインの解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL L教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 メディアの機能について説明することができる。さまざまなメディアを分類することができる。メディアの発達について説明することができる。他のメディアを適切に使用した文章が作成できる。 【思考・判断・表現】 情報の指索性や信頼性について吟味し、情報の真意を読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	実技試験						1
	定期考査						1
2 学 期	単元「システムとデジタル化」 【知識及び技能】 コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。 アナログとデジタルの違いについて理解する。 表計算ソフトを利用した情報処理ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて理解することができる。	・指導事項 システムとデジタル化の解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL L教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 ソフトウェアの種類とその働きを説明することができる。 アナログとデジタルの概念とその違いを説明できる。 関数を使用した表が作成できる。 【思考・判断・表現】 コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	12
	単元「ネットワークとセキュリティ」 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの構成について理解する。 情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。 表計算ソフトを利用した情報処理ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に選択することができる。	・指導事項 ネットワークとセキュリティの解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL L教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 通信方式の種類やその違いについて説明することができる。 情報セキュリティの基本的な考え方について説明することができる。 問題解決の手段として表が作成でき、適切なグラフが作成できる。 【思考・判断・表現】 目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	12
	実技試験						1
	定期考査						1
3 学 期	単元「問題解決とその方法」 【知識及び技能】 問題解決の手順について理解する。 データ分析の手法について理解する。 プレゼンテーションソフトを利用した資料が作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化する手順と方法を理解しできる。	・指導事項 問題解決とその手法の解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL L教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 問題解決の手順について説明できる。 データ分析の手法について説明できる。 プレゼンテーションソフトを利用した資料が作成でき、プレゼンテーションできる。 【思考・判断・表現】 モデル化の手順に従って、様々なモデルが作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
	実技試験						1
	単元「アルゴリズムとプログラミング」 【知識及び技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関数を使用したプログラムを作成する。多くのデータから目的のデータを抽出するプログラムを作成する。	・指導事項 アルゴリズムとプログラミングの解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL L教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法が説明できる。 プログラミング言語の種類とその特徴について説明できる。 【思考・判断・表現】 表計算ソフト上でVBAを使用してプログラムが作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	7
	合計						70